努力と勇気でチャンスをつかむ

競争を生き抜く代理店

㈱日本シンクタンク　代表取締役　那須顯一

◀110▶

TEL06-6282-6488（代）
http://www.j-thinktank.com/

建設ラッシュ進むが
人手不足の建設業、事故が心配

11月8日、博多市博多区の道路陥没のニュース映像は、まるで映画の中の架空の世界。あるいは、海外映像のシンクホールを彷彿させられ、とても我が国で起こっているとは考えられない衝撃でした。

見た瞬間に『もしかして鳥取県中部地震の影響じゃないか』と思いましたが、発表によると、福岡市営地下鉄七隈線延伸工事の影響によるものとのこと。その後、約一週間で復旧させた技術力に、驚嘆と賞賛が相次いだようですが、本来技術力があれば、そもそも陥没は起こらないのではないのでしょうか。

建設などの工事では数年前からクレーン転倒など大事故が増えていると感じておりますが、その原因は、

・技術力の低下
・就業者の高齢化
・人手不足

などと言われ、国土交通省の発表によると、二年前から建設業の人手不足は緩和されているとのことですが、東北の復興に加え、東京オリンピックの準備も控えていますので、実際はまだまだ人が足りない状況なのかもしれません。

ましてや今、ホテルの建設ラッシュ。大阪だけでも2018年末頃までに新たに供給される客室数は8500室を超えると予想されていますし、東京ではもっとなのでしょうか。

マンションデベロッパー（開発業者）の方いわく、マンションの用地仕入れで、ホテル用地仕入れとバッティングすることが増え、収益物件のホテルの用地仕入れ値に勝つことができない。またそれも土地価格高騰の一因でもある、とのこと。

建設業の人手不足は続きそうですが、それに伴い事故が増えないことを願うばかりですが、博多のような事故は全国どこで起こってもおかしくないのでしょう。

タイミングよくちょうど知り合いの企業が、大阪市内の大通り沿いの自社ビルを売りに出されるのですが（自社はテナントとしてビルに入居）、この企業の沿革を見ると、何度かビルを買ってしばらくしては手放し、ということを繰り返されていますが、買う時はほぼ底値で。売る時は高値で、とまるで世の中の動きを操っているかのように、それだけでかなりの収益をあげられています。

もちろん、優秀な人材が集まる企業ですが、ここまで当たるとは驚き。

また、日本マクドナルドの創業者、故藤田田氏は創業後すぐに収益が上がらない時は、社員へのボーナスを全て相場で儲けて捻出していたとTVで見ましたが、全ての経済の動きを把握しているような方は、少なからず我が国にもいらっしゃるのかもしれません。

避難で自動車が渋滞
福島県沖の地震発生時

時同じく11月8日には、米国大統領選挙でドナルド・トランプ氏の当選が確実になりました。当選前の公約は、・米中貿易の改革・退役軍人省の改革・税制の改革・武器の所有権利の五つで、TPPには反対の立場をとり、日本や韓国が米軍の駐留経費を全額負担しなければ駐留米軍を撤退させると主張していると報道されています。

「アメリカを再び偉大に」するためにさまざま考えておられるようですが、TPPより諸外国との二国間協議を望んでいるとも言われ、そのステージに上がることはTPPより夕フな交渉となるでしょうし、安全保障なども絡んでくるので悩ましい限り。

また、TPP参入に向け準備されていた企業は、このままTPPが実現しない場合少なからず損失が発生するでしょうし、実現しない場合も想定して、さらに準備をし直さなければいけない。

全農改革は本当に進むのかなどなど。なんだか振り回されますね。

ただこれまでの諸外国や米国民からみた外国人に対する扱いや、付き合い方がガラッと変わることになれば、新たな争いの種がまかれることになりかねませんので、我々一人一人が報道に一喜一憂せず冷静にまいりましょう。

今後世界情勢がどう変わるのかを楽しみにしつつ世界平和が実現、維持できることを願って止みません。

『次は南海トラフか』

『今後30年で南海トラフが発生する確率は70％以上』など、大阪に住まいしていると南海トラフに関する報道ばかりに目を獲られていましたが、11月22日に福島県沖を震源とした地震は、津波警報が出て停電の影響もあり東海道新幹線でも遅れが出ました。

当日東京に行く予定でしたので新幹線の遅れや首都圏での交通ダイヤの乱れを心配しました。14時開始の会議には何とか間に合い、東京では皆さん落ち着いておられましたが、被災地の宮城、福島では東日本大震災と同様自動車での避難による渋滞があったと報道がありました。

あわてるがゆえ、車での移動がはやいと考えての結果なのでしょうが、やはり同じことを考える方が多いのかな、とふと私が経験した阪神淡路大震災を思い返してみました。

当時の被災地での移動は、道路も割れや隆起が激しく幹線道路では車が通れない場所もあちこちにありました。トラックで自転車を大阪から持ち込んでいましたが、結局、従妹の家にあった原付が一番便利な交通手段でした。

・買い物に行くのもちょっとした荷物を運ぶにも便利。
・渋滞をすり抜けられるし小回りがきく。
・二人乗りすれば人も運べる。
・車に比べて燃費は抜群にいい。

普段は車のほうが安全で便利なので乗る機会もなく、気が付きませんでしたが、当時の被災地では良いことづくめの便利アイテムでした。

地震や大雨、経済的な災害はいつどこで発生してもおかしくない状況です。

我々だけでも何があってもあわてず騒がず、備えを怠らず。

お互い生き残る代理店を目指しましょう。

災害はいつどこで発生しても おかしくない状況に

保険ショップの現場から…

西田 理恵 ―― 77

長い人生をともに走る伴走者でありたい

11月は毎年、保険月としてご来店数が増える傾向にあります。今年も例に漏れず保険ショップにお越しいただいたお客様で連日ご相談ブースが埋まっている状態でした。

初めてのお客様の中には現在加入している保険会社から新しい保険の提案を受け、早急に回答しなければいけないという状態で来られた方も多く見受けられました。

ただし、今入っている保険の内容も理解していないのに新しい保険ってなぜ勧めるのだろう?と疑問に思って保険ショップに見てもらおうとご来店を思い立ったようでした。

また、お店も11年を迎えるにあたり、私も入社10年。永いお付き合いのお客様から多数新たなご相談を受けました。永いお付き合いのお客様は加入して年数が経つので確認もかねてのご相談かな?と思ってお話を聞くと、「自動車を購入した販売店で自動車保険も生命保険もやっているからどうですか?」と勧められたそうです。お見積もりをもらってその足ですぐ持ってきてくださったお客様がいました。

「自動車保険も西田さんに任せているし、生命保険は今入っている内容がわかっていて勧めるならまだしも、ただいい保険ですよとプランだけもらってもわかりにくいわ。だったら見てもらおうと思って…」と言ってくださることに感激でした。

今、保険に加入する手段、情報は多岐にわたっています。携帯電話会社、百貨店、自動車販売店のディーラー、お客様が保険を勧められる機会はとても増えてきて、気軽に相談もできます。

だからこそ私たちが今まで以上に意識して取り組んでいきたいのは、

保険を全部まかせて安心
そんな関係を目指したい

「保険」という商品ではなく「保険を全部まかせて安心」という信頼関係を築き続けることだと思います。

加入して保険の出口のフォローも希薄な関係であれば販路自体はものすごく増えているのでどこで入っても一緒、という気持ちになりかねないと思います。

私はそういった意味では「保険」というキーワードで何かを決断するときすぐにお店を思い出し、まずご相談に来ていただけることが大事だと思いました。

お客様の「保険」をコーディネートするにあたり十人十色だといつも感じます。お一人お一人の問題解決、ほっとする安心感に携わることでお客様の人生に関わっていく大事な使命です。

初めてご来店されたお客様には自己紹介と会社案内とで会社の理念、ビジョンをお話しし、初日で共感していただけるよう日々伝え方を工夫しています。従来のお客様にも改めて、また、想いが伝わるように繰り返し会社案内をしています。

この保険ショップを目指して来てくださるお客様の期待以上の真心がご提供できるように日々お店を磨き、ご要望を一心に聴き、長い道のりをともに走っていくマラソンランナーの伴走者のような存在でありたい、そう思って毎日わくわくしながらお店に出勤しています。

ショップの全員がご相談に乗っている姿を見てお店の前を通るお客様が、初めてであっても気軽にどんどん入ってきて今月のように溢れている状態が本当に幸せな瞬間といえます。

気軽に相談できる保険ショップに